

キャップ

CAP(子どもへの暴力防止) 講演会



障がい者とエンパワメント ～当事者主権～



CAP センター・JAPAN では、2003 年から「障がいのある子どもへの CAP プロジェクト」を設けて一人ひとりのニーズに合わせた CAP 子どもワークショップの実践に取り組んでいます。すべての子どもたちが地域で「安心して、自信をもって、自由に」生きるための社会のあり方について一緒に考えましょう。今回は『当事者主権』*の著者である中西正司さんをお招きします。

* 『当事者主権』中西 正司・上野 千鶴子(著) 岩波新書 新赤版 860 2003 年

(講演概要)

当事者として、日本に自立生活センターを全国に展開していかれた経緯とその背景にある障害者運動の歴史をお話いただきます。

日時: 2008 年 1 月 26 日(土) 13:30 ~ 16:00
(受付開始 13:00)

13:30 ~ 15:00 講演

15:15 ~ 16:00 意見交換(交流会)

場所: 板橋区グリーンホール 2F 男女平等推進センター会議室
〒173-0015 東京都板橋区栄町 36-1 TEL03-3579-2221
東武東上線 大山駅下車/都営地下鉄三田線 板橋区役所前下車

講師: 中西正司 (全国自立生活センター協議会代表)

対象: 子どもへの暴力防止に関心のある市民のみなさん
CAP スペシャリスト

定員: 45 名

参加費: 1,000 円(資料代を含む)



CAP(キャップ Child Assault Prevention)とは

(子どもへの暴力防止)の略で、子どもがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分の心と身体を守るための教育プログラムです。



競輪補助事業

主催: NPO 法人 CAP センター・JAPAN 企画: 障がいのある子どもへの CAP プロジェクト

講師の紹介

中西 正司さん（全国自立生活センター協議会代表）

20歳の時に交通事故により受傷し、四肢まひになる。1986年日本で初めての自立生活センター・ヒューマンケア協会を設立。1990年、DPI（障がい者インターナショナル）日本会議議長に就任、交通アクセス運動を全国に展開する。1991年全国自立生活センター協議会（JIL）を設立し事務局長に。現在、全国自立生活センター協議会代表、DPI世界会議アジア太平洋ブロック議長。



1月26日 講演会 障害者とエンパワメント～当事者主権～ 一般参加申し込み

(切り取らずにご使用ください。)

お名前 _____

TEL _____

自宅・職場 / FAX _____

自宅・職場 _____

参加される方の所属をお知らせください。該当するものに をつけてください。

学校 ・ PTA(保護者) ・ 地域 ・ NPO 団体 ・ その他()

* 参加申込書の内容については本事業以外には使用いたしません。

* お申込みは、上記の必要事項をご記入の上、CAPセンター・JAPANまでFAX、郵送もしくはメールでお願いいたします。参加票をお送りいたしますので、当日ご持参ください。参加費は当日徴収させていただきます。

FAX 送信先 : (0798) 57 4122

主催: NPO 法人 CAP センター・JAPAN

〒662-0825 兵庫県西宮市門戸荘 17-34 TEL : 0798 57 4121 FAX: 0798 57 4122

<http://www.cap-j.net> E-mail: info@cap-j.net

[PDF](#)